

ひな飾い

第9版



祖父母が長女に贈ったひな人形(1979年)

村上洋一 著

はじめに

2010年3月に、綾瀬市役所で「つるしひな」を見ました。この時「ひな飾り」について調べると、南足柄市郷土資料館や、開成町の瀬戸屋敷で「ひなまつり」が開催され、色々なひな人形が飾られていることを知りました。早速見に行き、その美しさ、種類の多さ、歴史の古さなどに感動しました。以後、南足柄市郷土資料館、瀬戸屋敷はほぼ毎年訪れていますが、近年は少し足を延ばして、静岡県、茨城県、山梨県のひな飾りを見に行っています。

本書ではひな飾りについて整理するとともに、これまでに私が見てきたひな飾りと、我が家のひな飾りを紹介します。

目 次

1. ひな飾り	P 2
2. 神奈川県	P 6
3. お雛様を愛でる会(東京都)	P22
4. 静岡県	P24
5. 真壁のひなまつり(茨城県)	P26
6. 山梨県	P26
7. 我が家のひな飾り	P32



私が孫に贈ったひな人形(2013年)

1. ひな飾り

(1) ひな祭り(出典:Wikipedia)

ひな祭りは、日本において女子のすこやかな成長を祈る節句の年中行事。「ひいなあそび」ともいう。ひな人形(「男雛」と「女雛」を中心とする人形)を飾り、桃の花を飾って、白酒や寿司などの飲食を楽しむ節句祭り。雛あられや菱餅を供える。

(2) ひな人形の種類(出典:Wikipedia)

ひな人形は、宮中の殿上人の装束(平安装束)を模して、表 1 に示す種類の人形から構成される。

表 1 ひな人形の種類

種類	説明
内裏雛、 あるいは親王	親王と親王妃を表すとされることが多い。纏綿縁(うんげんべり)の厚畳の親王台が敷かれる。男雛は立纓(りゅうえい)を戴いているものが多い。なお立纓は、本来は天皇のみが着用をするものであり、実際の親王が着用することはない。
三人官女	宮中に仕える女官をあらわす。内 1 人のみお齒黒、眉無し(既婚者を意味するが、生涯独身の女官の場合には年長者という意味であろう)。
五人囃子	能のお囃子を奏でる 5 人の楽人をあらわし、向かって右から、謡(うたい)、笛、小鼓、大鼓、そして太鼓の順であり、右から楽器が小さい順番に並んでいる。能囃子の代わりに「五人雅楽」の楽人の場合もあり、向かって右から、羯鼓(かっこ)、火焰太鼓(かえんだいこ)、笙(しょう)、縦笛、横笛の順に並べる。
隨身、通称は 右大臣と左大臣	向かって右が左大臣で年配者、向かって左が右大臣で若者である。いずれも武官の姿であり、正しくは近衛中将または少将である。
仕丁、 あるいは衛士	従者と護衛をあらわし、通常 3 人 1 組である。それぞれ、日傘をかざしてお供する係、殿の履物をお預かりする係、雨をよける丸い笠を竿の先にのせてお供する係を分担している。向かって右から立傘、沓台、台笠の順に飾る。怒り、泣き、笑いの表情から、三人上戸の別称もある。月代(さかやき)を剃っていることが多い。

<余談>内裏雛の配置(出典:Wikipedia)

現在日本では男雛を右(向かって左)に配置する家庭が多く、結婚式の新郎新婦もそれに倣っているが、人形の配置の仕方は下記のとおり近代前後で変化があり、それが現在も地域差として残っている。

壇上の内裏雛は内裏の宮中の並び方を模している。かつての日本では「左」が上の位であった。明治天皇の時代までは左が高位というそのような伝統があったため天皇は左に立

った。現在でも畿内や西日本を中心に旧来の配置を続けている家庭もあり、日本人形協会では、男雛を向かって左に置くのを「現代式」、右に置くのを「古式」としている。

しかし明治の文明開化によって日本も西洋化し、その後に最初の即位式を挙げた大正天皇は西洋に倣って右に立った。それが皇室の伝統となり、昭和天皇はいつも右に立ち香淳皇后が左に並んだ。それにならい、男雛を右(向かって左)に配置することが一般的となった。

(3) 享保雛と古今雛(出典:インターネット)

享保雛は江戸時代の享保年間頃から流行し始めた雛人形で、衣装や小道具が派手に高級化された豪華な内裏雛です。もともとは能面師が作ったとされる顔が特徴で、女雛は豪華な天冠、男雛の冠にも金が施されています。衣装もふんだんに金襴が使用されており、袖、裾、袴などに厚みを持たせた豪華な親王飾りです。

古今雛は江戸後期に江戸で完成された雛人形です。男雛は東帯、女雛は五衣唐衣裳(いわゆる十二単)と上級公家の正装を模し華麗に仕立てられています。女雛が単の袖を長く出し、垂髪に宝冠を被るのが特徴です。

(4) ひな人形の飾り方

ひな人形という七段飾りを思い浮かべますが、表2に示すように色々な飾り方があります。

表2 ひな人形の飾り方

種類	説明
七段飾り	<p>男雛と女雛の内裏雛を一番上段に、お付きの者から嫁入り道具までそろった七段飾りです。一段目:内裏雛、二段目:三人官女、三段目:五人囃子、四段目:随臣、五段目:仕丁、六段目・七段目:嫁入り道具(箆笥、挟箱、長持、鏡台、針箱、衣裳袋、火鉢、茶道具、籠、重箱、御所車)</p> <div data-bbox="798 1265 1380 1702" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: right;">あつぎ古民家岸邸</p>
三段飾り	<p>三段飾りでは、七段飾りの一段目、二段目、七段目を使う構成が多いようです。一段目:内裏雛、二段目:三人官女、三段目:嫁入り道具</p>
五段飾り	<p>三段飾りの構成に五人囃子と仕丁を加える場合が多いようです。一段目:内裏雛、二段目:三人官女、三段目:五人囃子、四段目:嫁入り道具、五段目:仕丁</p>

<p>親王飾り</p>	<p>男雛と女雛の内裏雛のみを飾ります。内裏雛を中心に、後ろに屏風を立て、両脇に雪洞(ぼんぼり)を置きます。その前に三宝や菱餅などを置きます。</p>	 <p style="text-align: center;">南足柄市郷土資料館</p>
<p>御殿飾り</p>	<p>京の御所・紫宸殿(ししんでん)を模した「御殿」を飾り、そのなかに天皇皇后を模した内裏雛のお人形を入れるという飾り方です。江戸時代後期から昭和中期まで作られていましたが、今はほとんど作られていません。</p>	 <p style="text-align: center;">南足柄市郷土資料館</p>
<p>平段飾り (私の造語)</p>	<p>平らな段の上に飾るもので、ひな飾りの展示で何度か見ました。正式な飾り方ではないと思います。</p>	 <p style="text-align: center;">あつぎ古民家岸邸</p>

(5) つるし飾り(出典:Wikipedia)

つるし飾りは伝統工芸の一種。ひな祭りの際に、糸の先に布製の人形などをつるしてひな人形とともに飾る。インテリアとして、折り紙やビーズを糸の先につけて飾った物をつるし飾りと呼ぶ場合もある。表 3 に、日本三大つるし飾りを示します。

表3 日本三大つるし飾り(出典:Wikipedia)

種類	説明
<p>さげもん</p> <p>福岡県柳川市</p>	<p>柳川地区でひな祭りに飾られる装飾。「さげもん」及び「さがりもの」と呼ばれる。旧暦3月1日から4月3日にかけて「さげもんめぐり」が開催され、各戸に飾られる。</p> <p>竹ひごに縮緬を巻いて作った輪に糸を7本掛け、各々に7個</p> <p style="text-align: right;">稲取「文化公園 雛の館」で撮影</p> <p>(計49個)布製の人形をつるし、中央に柳川鞠を2個配したものを2組1セットとして雛壇の両側に飾る。小型の物は、糸5本、人形25体(5×5体)、鞠1個が標準となっている。</p>
<p>雛のつるし飾り (P24 参照)</p> <p>静岡県 東伊豆町 稲取地区</p>	<p>伊豆稲取地区でひな祭りに飾られる装飾。「雛のつるし飾り」及び「つるし」と呼ばれる。ひな人形の代わりに手作りの人形を飾ったのが始まりとされている。雛のつるし飾りは、娘の成人後にどんど焼きにくべる習慣があったため、古い物は残っておらず、最古の物は100年程度前の物と言われている。戦後、一時期廃れたが、平成に入って稲取婦人会が中心となって復興した。</p> <p>竹ひごに縮緬を巻いて作った輪に糸を5本掛け、各々に11個(計55個)布製の人形をつるしたものを2組1セットとして雛壇の両側に飾る。</p>
<p>傘福</p> <p>山形県酒田市</p>	<p>酒田地区でひな祭りに飾られる装飾。「傘福」及び「笠福」と呼ばれる。傘福は江戸時代北前航路で伝えられたとされ、子どもが健やかに育つことを願い傘に手作りの縁起小物をつるしたもので、傘の内側に天幕を張り、親骨に紐をかけ先端に布製の人形をつるす。</p> <p style="text-align: right;">稲取「文化公園 雛の館」で撮影</p>

以下に、2010年以降に各地で見て来たひな飾りを紹介します。

2. 神奈川県

(1) 河の手ギャラリー(海老名市)

飯島廣さんが運営する個人ギャラリーです。毎年「ひな祭り展」が開催されます。



河の手ギャラリー



内裏雛 (大正3年)



還り雛(還暦を迎えた初節句の女性に贈るおひなさま)



竹で作った内裏雛

(2) 海老名市役所のつるし飾り(海老名市)

柏ヶ谷で活動する手芸サークル「さくらキルトクラブ」と「あかね会」が、2024年初めて市役所のロビーにつるし雛を展示しました。





さるぼぼ



枝豆

(3) つるし雛 50 人展(海老名市)

東柏ヶ谷にある高齢者の触れ合いの場である「ハッピーサロン銀の椅子」で、「つるし雛 50 人展」が開催されました。



(4) あつぎ古民家岸邸(厚木市)

厚木市上荻野の岸重郎平さんから厚木市に寄贈のあった旧邸宅が、平成 11 年から「厚木市古民家岸邸」として開館されています。ここでは色々なイベントが開催され、2 月末～3 月初めにひな飾りの展示があります。



入口から見る古民家岸邸



二階の 3 部屋のひな飾り



古今雛(明治時代)



御殿飾り(昭和37年)

(5) 「もりや亭」のつるし雛展(厚木市)

厚木市鳶尾の地域寄合所「もりや亭」で「日本三大つるし雛展」が開催されました。「雛のつるし飾り」(静岡県稲取)、「さげもん」(福岡県柳川)、「傘福」(山形県酒田)のつるし飾りの他、厚木市の6人の作家の作品が展示されました。



もりや亭



ひな飾りとつるし飾り



傘福



6人の作家の作品



2026年の十二支の「午」

(6) 座間神社(座間市)

供養のため納められたひな人形が、座間神社正面に位置する77段の石段に飾られます。また、かぐら殿や社務所内各所にも、合計約1,000体のひな人形が飾られます。



77段の石段でのひな飾り



かぐら殿の七段飾り

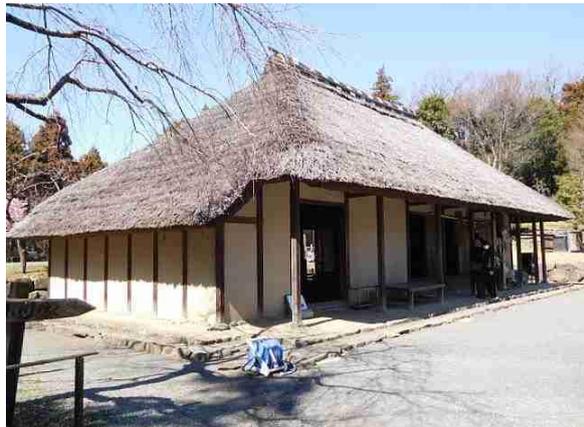


ブス姫

(7) 郷土民家園(大和市)

郷土民家園には、大和市にあった民家(市指定重要有形文化財)が2棟移築復元され

ています。2 月末～3 月初めに、大和市の郷土民家園、下鶴間ふるさと館、つる舞の里歴史資料館の 3 館で、ひな祭りをテーマとした合同企画展が開催されます。



旧小川家



旧小川家の「いろり」と「ひな飾り」



旧北島家



旧北島家の「ひな飾り」と「つるしひな」

(8) 下鶴間ふるさと館(大和市)・・・市指定重要有形文化財

下鶴間ふるさと館には、市指定重要文化財の旧小倉家住宅の母屋(1856 年建築)と土蔵が復元されています。



下鶴間ふるさと館



七段飾りのひな人形とつるしかざり

(9) つる舞の里歴史資料館(大和市)

つる舞の里歴史資料館は、地域の歴史資料を収集、保管し、展示活用するために建設

されました。



つる舞の里歴史資料館



つるしかざり

(10) 綾瀬市役所のつるし飾り(綾瀬市)

「うらやかつ子と仲間の布遊びの会」の作品などが飾られました。つるし飾りが落下して危険とのことで今は中止になっています。



綾瀬市役所の入口に飾られたつるしひな

(11) 古民家山十邸(愛川町)

古民家山十邸は、式台、北側に6部屋、北端に座敷飾りを備える15畳の主座敷を設ける豪壮な農家建築です。2月末～3月初めにひな飾りの展示があります。



式台(玄関)を持つ山十邸主屋



つるし飾りと子供用の着物



七段飾りのひな人形



親王飾りのひな人形

(12) 一之宮八幡大神(寒川町)

10年以上前から一之宮八幡大神の会館でつるし雛の展示が始まり、展示期間中は自分で作った小物を持ち帰ることができるワークショップが実施されます。



会館内でのつるし雛の展示



ひな人形とつまみ細工の毯



あじさい

(13) 西公民館(秦野市)

秦野市の西公民館で、ひな人形が展示されました。享保雛、古今雛、御殿飾り、親王飾りなど、昔の人形がありました。



享保雛(江戸中期)



古今雛(江戸後期)



親王飾り(大正 5、6 年)



掛け軸(明治時代)

(14) 本町公民館(秦野市)

秦野市の本町公民館でひな人形が展示されました。享保雛、古今雛、立雛、香袋のつるし飾りなどがありました。





立雛



香袋のつるし飾り

(15) 秦野赤十字病院(秦野市)

ボランティアグループが 2002 年から病院の階段に飾り付けている、27 段 150 体のひな人形です。



(16) ひな飾り(小原宿本陣、相模原市)

甲州道中の小原宿本陣は、東海道・甲州道中に置かれた神奈川県下 26 本陣中、唯一現存する建物で、県指定重要文化財です



小原宿本陣



ひな飾り

(17) つるし雛(小原の郷、相模原市)

小原地区の自然環境の紹介や、周辺地域の貴重な出土品の展示などを行っています。



つるし雛



七福神の宝船

(18) 甲州道中のおひな様展(吉野宿ふじや、相模原市)

吉野宿ふじやは、甲州道中の宿場・吉野宿の旅籠「藤屋」として営まれていました。お内裏様とお雛様だけの親王飾りから、三人官女、五人囃子、随臣、仕丁まで 15 人がそろった 7 段飾りまで、様々なひな人形が展示されています。



吉野宿ふじや



室内の展示



高さ 60cm の大型の享保雛



大正時代

(19) ひな飾り(相模田名民家資料館、相模原市)

2月末～3月初めにひな人形、4月末～5月初めに節句人形の展示があります。



室内の展示



明治から大正の頃

(20) 「森のひなまつり」(南足柄郷土資料館、南足柄市)

江戸・明治・大正・昭和のおひなさまを展示し、各時代のひな人形の変化を楽しめます。ひな人形の展示数と種類も神奈川県内でトップクラスです。



会場の南足柄市郷土資料館



御殿飾りと七段飾り



享保雛 (宝暦初年、1751年)



古今雛 (江戸時代後期)

49才の若さで急逝した節句工芸士後藤由香子さんの創作ひな飾りです。(2022年展示)



工房ゆうきで作られた江戸木目込み人形です。(2023年展示)



(21) 「里のひなまつり」(瀬戸屋敷、開成町)

築300年の古民家「瀬戸屋敷」で行われる「里のひなまつり」には、江戸時代の風情がいっぱいです。300年前の「享保雛」や瀬戸屋敷収蔵の人形の数々、婦人会手づくりの「つるしひな」などが展示されています。



会場の瀬戸屋敷の主屋



七段飾りと御殿飾りとつるしひな



七段飾りと親王飾り



土蔵内のひな飾りとつるしひな

(22) 子どもの館(松田山ハーブガーデン、松田町)

河津桜の「まつだ桜まつり」で有名な松田山ハーブガーデン内の、「子どもの館」でひな人形が飾られます。



七段飾りとつるしひな



枯れ木につるしたつるしひな

(23) 「お山のひなまつり」(大井町)

町内の家庭に眠っていたおひなさまを譲ってもらい、のどかな里山の雰囲気薫る会場内に展示します。大小さまざまなおひなさまの中には、ひょうたんで作った少し変わったひな人形もあります。



会場の大井町郷土資料館



ひょうたんで作ったひな人形



豪華なひな人形



かわいいひな人形

(24) 手芸展(藤沢市)

農協利用者の有志サークル「なかよし会」と「くちなし会」による雛飾りなどの手芸展が、JA 大庭で開催されました。



JA 大庭内での展示



午



内裏雛

(25) 「おだわら雛の道中」(小田原市)

歴史や由緒あるひな人形を飾る「おだわら雛の道中～おひなさまのひなたぼっこ～」が開催され、31の施設や店舗でひな飾りが展示されます。

● 清閑亭(旧黒田長成侯爵別邸)のひな飾り



庭から見た清閑亭



内裏雛



親王飾り



蔵の中のひな飾り

● 街中店舗のひな飾り



欄干橋ちん里う (昭和30年)



小西薬局 (明治中頃)

(26) 横浜人形の家(横浜市)

2月末～3月初めに企画展として「ひな人形展」が開催され、享保雛、古今雛、御殿飾りなど、歴史のあるひな人形が展示されます。



ひな人形の展示



享保雛



古今雛

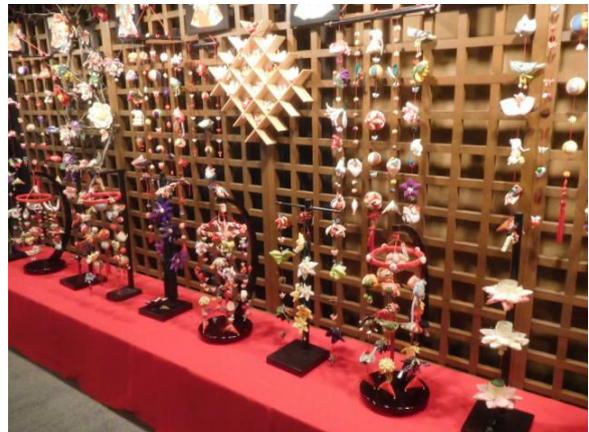
3. 東京都

(1) お雛様を愛でる会(日野宿本陣)

日野宿本陣は、都内に現存する唯一の本陣であり、日野市内でも指折りの貴重な文化遺産です。毎年2月末～3月初めに「お雛様を愛でる会」が開催されます。



日野宿本陣



つるし飾り



ひな飾りの展示



明治時代の古今雛



2024年の干支 龍

(2) 京王百草園

2、3月に梅まつりが行われていて、ひなまつりイベントがあります。



ひな飾り



つるし飾り

4. 静岡県

(1) 「雛のつるし飾り」(伊豆町稲取地区)

稲取温泉に伝わるひな祭りには、江戸時代後期より、娘の成長を願う母や祖母の手作りの「つるし飾り」が飾られる風習がありました。おひなさまを購入できる裕福な家庭はまれで、手作りで初節句を祝おうという、切ない親心から生まれたのが稲取の雛のつるし飾りです。

● むかい庵



七段飾りとつるしひな



内裏雛とつるしひな

● 文化公園 雛の館



段飾り



立雛とつるしひな

(2) 可睡齋ひなまつり(袋井市)

可睡齋では、供養を終えた雛人形たちに新たな命を吹き込み、2015年から「可睡齋ひなまつり」を開催しています。瑞龍閣の大広間に飾られた、天井まで届きそうな日本最大級の32段1,200体のお雛様は壮観です。期間中は、さるぼぼや竹細工、折り紙の展示等、ひなまつりに関連した様々な展示も楽しむことができ、家族連れで賑わいます。



瑞龍閣がある本堂(法堂)



瑞龍閣の32段1,200体のひな人形



ハート飾り



廊下のひな人形



つるし飾り

5. 真壁のひなまつり(茨城県)

見世倉・土蔵などが軒を連ねる風情豊かな町並みの真壁町に、160軒を超える家がひな人形を飾る一大イベントです。町の各地に展示しているひな飾りは、数百年前の由緒あるひな人形や現代作家の作品など、様々です。



真壁の町並み



江戸・明治・大正・昭和初期のひな人形



伊勢屋旅館のひな人形



下駄屋さんのひな人形

6. 山梨県

(1) 甘草屋敷のひな飾り(甲州市)

漢方薬の原料「甘草」を栽培したことが名前の由来です。毎年2～3月にかけて開催されるひな飾りのメイン会場で、つるし飾りや雛段が華やかに飾られます。



主屋（東側から）



主屋（東側から、入口があります。）



享保雛（享保年間：1716～1736）



五楽人（文化年間：1804～1818）

(2) 信玄公宝物館(恵林寺、甲州市)

恵林寺は、甲斐武田氏の菩提寺です。境内には「信玄公宝物館」が、また道路をはさんでドライブイン「信玄館」があり、2～3月にひな人形が飾られます。



四脚門(赤門)



開山堂



ひな飾りとつるしひな



江戸後期

(3) ドライブイン信玄館(甲州市)



武田信玄公の写真と鎧



ひな飾り

(4) 八田家書院(笛吹市)

八田家書院は歴史的建造物で、山梨県の有形文化財です。八田家は甲斐守護・武田氏の家臣で、財政を担う蔵奉行を務める一方で商業活動も行う商人でした。



八田家書院



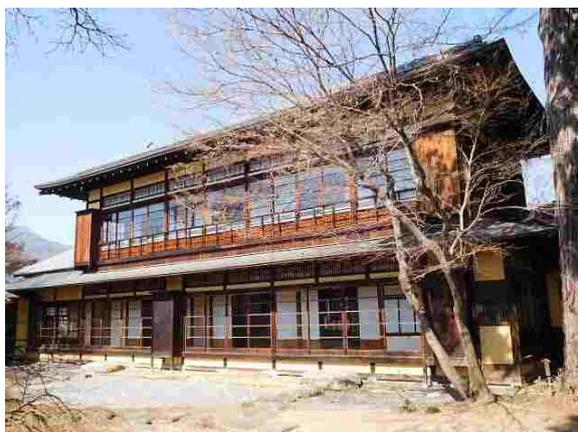
江戸時代(左下:楊貴妃 右下:三番叟)

(5) 根津記念館(山梨市)

根津記念館は、「鉄道王」と呼ばれた初代根津嘉一郎の実家「根津家」の邸宅を保存・公開する施設です。嘉一郎は東武鉄道の社長など鉄道会社 24 社、その他多くの会社経営にかかわった実業家です。



旧主屋の入口



庭から見る旧主屋



親王飾りと御殿飾り



右端は犬をつれた官女

(6)山梨県立文学館(甲府市)

山梨県甲府市の「芸術の森公園」には、山梨県立美術館 と山梨県立文学館があり、随所に彫刻を配置しています。山梨県立文学館で「つるし雛飾り」が展示されました。



つるし飾り



牛の内裏飾り

(7)安藤家住宅ひなまつり(南アルプス市)

江戸時代の面影を残す邸内に各種のひな飾りが展示されています。重要文化財ならではの建築の意匠も楽しめます。



長屋門(入口)



母屋

横沢ひなは明治から昭和の初めにかけて、甲府市の旧横沢町(現在の宝地区周辺)周辺の間屋や工房が手がけ、人気を博しました。南アルプス市がある峡西地域では、これらの人形を横沢町の行商人から購入し、飾ったそうです。



式台に飾られたひな人形



横沢ひな



享保雛



古今雛

(8) 豊富郷土資料館 ひなまつり(中央市)

江戸時代から昭和時代のひな人形 250 体が展示されています。



豊富郷土資料館



ひな人形の展示



享保雛



横沢びな

(9)道の駅みのぶ ひなまつり交流展(身延町)

自分で手掛けた作品や家に眠っている雛飾りが展示されています。



ひなまつり交流展

7. 我が家のひな飾り

我が家には手作りのひな飾りが多くあります。全ては小物なので、年中飾っています。



竹細工とひな飾り



竹細工とひな飾り



竹細工とひな飾り



竹細工とひな飾り



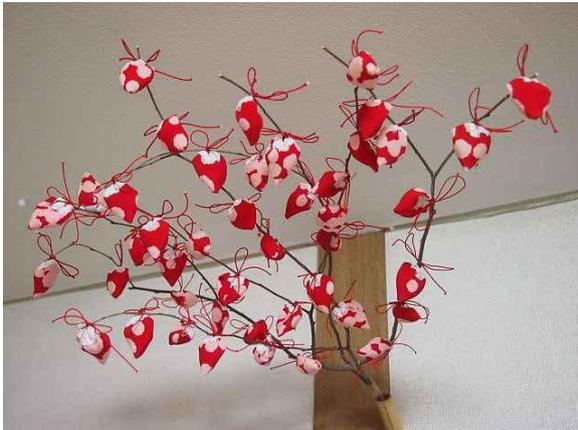
丸太の端材で作った内裏雛



南足柄郷土資料館で買ったひな人形



紙で作った内裏雛



桃飾り



つるしひな

ひな飾り

第9版

2016年3月 初版発行

2026年3月 第9版発行

著者 村上洋一

発行所 村上出版社